

# 2013年幕開け

# 〜明るく楽しく毎日を!〜

▼問合せ 学校教育グループ ☎079(435)0545

# 『いじめは許さない 見逃さない、みんなで子どもを育てる町に!』

新年あけましておめでとございます。

「一年の計は元日にあり」、今年一年がよい年となりますように!

昨年は大津市のいじめ問題が大きな社会問題となり心痛む年もありました。いじめは「どの児童生徒にも、どの学校においても起こり得る問題」であることを十分認識し、子どもたちの「SOS」サインを見逃さないことが、いじめの未然防止・早期発見につながります。すべての子どもたちが、元気に明るく日々の生活を送り、心も体も健康的に暮らすことは、保護者の方はもちろんのこと地域社会全体の願いです。



子どもたちは、日々成長し、心も体も変化するものです。ぜひ、ご家庭におかれましては、いろいろな話題で会話の時間をもちいたただければと思います。親に心配をかけたくない気持ちから、誰にも相談せずいじめが深刻化していくケースがあります。教育委員会といたしましては、いじめの未然防止に努め、早期発見・早期対応を図るためにも、保護者、地域の皆さんとさらに連携を強化してまいりたいと考えております。

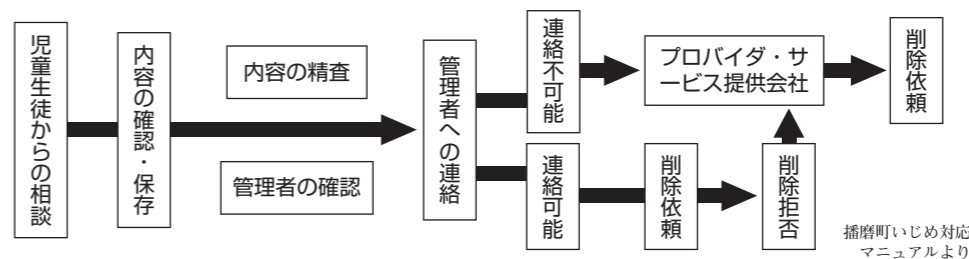
▼連絡先  
各学校園  
ふれあいルーム  
☎079(437)4141  
学校教育グループ  
☎079(435)0545

## 深刻化するネット上のいじめ

パソコンや携帯電話が普及し、特定の子どもの悪口や誹謗・中傷をインターネット上のWebサイトの掲示板などに書き込んだり、メールを送ったりする方法により不特定多数の者から、絶え間なく誹謗・中傷が行われ、被害が短期間で極めて深刻なものとなるケースがあります。さらに、インターネットのもつ匿名性から、「ネット上のいじめ」の実態の把握が難しくなっています。

ご家庭におかれましては、携帯電話の必要性・危険性についてしっかり話し合っただけで、お子さんの携帯電話やインターネットの利用の実態の十分な把握をお願いいたします。そして、「ネットいじめ」に関して、子どもが発する危険信号に十分留意していただきたいと思います。

### <悪質な書き込みへの対応フローチャート>



# 『いじめは許さない 見逃さない、みんなで』



▲研修会の様子

## 【いじめ早期発見のためのチェックリスト】 播磨町いじめ対応マニュアルより

☆家庭の様子から

家庭の様子調査		月日	月日	月日
①	登校時間になると頭痛などを訴え、登校を渋るようになる			
②	口数が少なくなり、学校のことや友だちのことを話さなくなる			
③	外出しなくなり、人におびえるようになる			
④	「転校したい」「生まれ変わりたい」などと申すようになる			
⑤	不審電話や嫌がらせの手紙や紙切れがあったりする			
⑥	本人の持ち物などが壊されたり、なくなったりする			
⑦	メモや日記などに悩みを書き込んであったりする			
⑧	衣服の汚れや破れ、擦り傷等が見られる			
⑨	家の金を持ち出したり、余分な金品を要求したりする			
⑩	イライラしたり、おどおどしたりして落ち着きがない			
⑪	家族に対して頑固になる			
⑫	助けを求める「うわ言」を言ったり、不眠を訴えたりする			

## いじめについて考えました

### 播磨南中学校PTA

11月16日、播磨南中学校PTA委員会後に、いじめに関する研修会を開催しました。

この研修会では、総務部などの5つの部会(グループ)ごとに【いじめ早期発見のためのチェックリスト】を考え、全体の場で発表しました。数多くのチェックリストが発表され、別表の①～⑫の他にも、次のような子どもからの「SOSサイン」が挙げられました。

## SOSのサイン

- ⑬朝、なかなか起きなくなる
- ⑭急いで一人で帰宅するようになる
- ⑮体にアザなどがある、肌を見せなくなる
- ⑯これまでになく小遣いを欲しがらる
- ⑰兄弟姉妹に、やつあたりする
- ⑱電話の後、外出することが目立つ
- ⑲友人関係に変化がある、これまで仲の良かった友人が離れる



▲書き出された「SOSのサイン」

## 平成24年度 日本PTA会長表彰受賞 高木利浩さん

この賞は、PTAにおける活動が社会教育の発展に貢献した個人や団体に対して表彰するものです。



高木さんは平成23年度、県PTA副会長として精力的に活動されたことが評価され、このたびの受賞となりました。受賞後、高木さんは「昨年度は郡PTA会長・県PTA副会長・近畿PTA理事を務め、いろいろと勉強もさせていただいた1年でした。今回表彰されとても光栄に思います。今後母校や地域の活動に協力していきたいと思っております」と語っておられました。

## 校内音楽会～手作り楽器を使って演奏したよ～

播磨西小学校 1年生

11月7日、校内音楽会（児童向け）が行われました。1年生は、斉唱「明日は晴れる」「音のカーニバル」、鍵盤奏「きらきら星」、合奏「ドレミの歌」の4曲を演奏しました。1年生にとっては、小学校に入学して初めての音楽会。2年生から6年生に見られるとあって、かなり緊張したようです。

「音のカーニバル」では、図工の時間に作った手作り楽器を使って演奏しました。振る音、たたく音、はじく音、吹く音の4つの音に分かれ、リズムよく鳴らしました。手作り楽器のいろんな音が微妙なハーモニーを醸し出し、子どもたちも楽しく演奏できたようです。

今年の1年生の人数は44人と少ないですが、歌や合奏に元気いっぱいがんばりました。音楽会后、2年生から6年生までのお兄さんやお姉さんから、「上手だったよ」「人数が少ないのに大きい声が出ていたよ」「手作り楽器の音がとてもよかったよ」など、感想のお手紙をたくさんいただき、とてもご満悦でした。



子どもの思いに寄り添って  
私は長年、幼稚園で子どもたちと共に生活しながら、子どもたちの笑顔にたくさんの元気をもらった。朝の登園時、子どもが声を弾ませ「見て、見て、いい物見つけた」と道で拾った木の葉を見せてくれた。外に出れば、どこにでも落ちていた葉っぱでも、子どもにとってはステキな宝物。子どものうれしい思いを感じて私もうれしくなった。「ステキな葉っぱを見つけたね。どこで見つけたの？」家の近くで見つけた。先生にあげる「ありがとう。大事にするわね」言葉のやりとりとともに心が通いあったひとときである。

子どもはよく「見て、見て」と声を掛けてくる。その子どもなりにめあてをもち、それに向かって一生懸命取り組んでいる時、達成

### よく学び よく育つ

学校教育グループ  
田尻 美恵子

できた時など、頑張っていることをわかってほしい、喜びを共有してほしい、認めてほしいという気持ちを周りの大人が受け止めることで、子どもたちはより張り切った様子になります。うまくいかなくてもチャレンジしようとする子どもに、これからの様々な困難にであって乗り越えようとするたくましさをもち続けてほしい。一つひとつの体験が多くの学びにつながるってほしいと願っている。

人はうれしい時、悲しい時、傍に誰かいて「良かったね」「大丈夫だよ」と言ってもらうだけでもほっとする。子どもも同じ。子どもから話しかけてきた時は、同じ目線で、そして、笑顔で耳を傾けよう。気持ちを受け止めてもらったらうれしさを感じている子どもは、きっと周りの人の気持ちも受け止められるようになると思う。

それぞれに大きな可能性を秘めている子どもたち、様々な人から刺激を受けて頑張ろうとしている子どもたちに、「今のあなたが大好きだよ」「いつも応援しているよ」と伝えたい。

## ほかほか遊びで寒さをふっとばそう！

播磨西幼稚園 年中児



寒くなった11月から年中児は登園後、朝の用意をすませると「ほかほか遊びに行きます！」と縄を持って園庭に出て行きます。

前跳びやうしろ跳び、走り跳びなどいろいろな跳び方に挑戦。また、みんなでしっぽ取りをしたり、縄で丸を作ってその周りを走ったり、尻相撲をしたりします。「お尻とお尻をくっ付けて、はっけよい！のこった！」勝負がつくともう一度。

「今度は、ニョロニョロヘビしよう」と友達と縄の両端を持って動かすと、「いくよ！」と他の子どもが跳びます。縄遊びのあとは、年少児と年長児も一緒にみんなの大好きな“恐竜体操”です。恐竜になって「ガオガオガオ！」と力いっぱい体を動かすと、寒さは吹きとんでいきました。ほかほか遊び楽しかったね！また明日もしようね。



## 文化祭

播磨中学校

秋晴れのさわやかな朝、1年生のかわいい歌声で文化祭が始まりました。合唱コンクールでは1年生は元気いっぱいに、2年生はひたむきに、3年生は3年分の思いを込めた真剣な歌声を聴かせてくれました。学級それぞれの思いを大きな口を開けて歌う姿に涙がとまりませんでした。



吹奏楽部の迫力ある演奏に圧倒され、E S S部の流暢な英語の歌はとても感動的でした。プログラムの全てが素晴らしいものでしたが、何よりどの場面でも播中全員が拍手や手拍子をして“ひとつになれた”文化祭でした。



## 宿泊学習について

東はりま特別支援学校 高等部1年

10月31日から11月1日にかけて、神戸方面へ宿泊学習を行いました。自分のことは自分でする・公共機関やお店の利用の仕方を学ぶ・集団行動のルールを学ぶなどを目標に約1ヵ月間、宿泊学習にむけて学習を積み重ねてきました。

特に、1日目の神戸ハーバーランド周辺でどのように過ごすかは、生徒たちがクラスごとに話し合いを進め、自分たちで計画を立て、実行しました。1日目が終わって生徒たちに感想を聞くと、「楽しかった」「もう一回行きたい」と答えた生徒が多かったです。

2日目は、しあわせの村でオリエンテーリングを行い、クラスをこえて、グループで協力して課題を解決することを学びました。

今回の経験を活かして、さらに充実した学校生活を送れることを願っています。

